

# 人物往来

## 笑顔でぴょん

梅香 武下 厚子



今回は4期目を迎え、子育て委員会で活躍されている武下厚子さんにお話をお聞きしました。

- Q. 子育て委員会の活動で特に楽しいことは何ですか？
- A. 北野委員長の時にポップクラブで絵本の読み聞かせをしてはどうかと勧められ始めたことです。今では年4回絵本の読み聞かせをしています。
- Q. それまでに絵本の読み聞かせをしたことはありましたか？
- A. 自分子どもには多くの本を読みましたが、それ以外には経験はなかったです。
- Q. 読み聞かせをするにあたり、なにかされましたか？
- A. 外部の研修会に参加したり、どのような絵本が良いか調べました。
- Q. 絵本の読み聞かせを始めて、武下さん自身何か変わりましたか？
- A. ボランティアとして何ができるのか真剣に悩んだ時期がありましたが、この活動を始めたことで、新たな喜びとなり、今では楽しみになっています。自分の新しい一面を見出すことができ感謝しています。これからも続けていきたいと思えます。
- Q. 赤ちゃんが喜ぶお薦めの絵本があれば教えて下さい。
- A. 「いないいないばあ」「ぴょん」「だるまさんシリーズ」「ぱかっ」を読んだときは、とても興味を示します。

ありがとうございました。高校時代は演劇部の助っ人として、現在はピラティス歴13年の経験があり、その発声方法や訓練、呼吸方法も読み聞かせに少なからず役に立っているのでは…。これからもその明るい声で赤ちゃん和妈妈さんに楽しいお話を聞かせてあげてください。

聞き手 梅香 岸本 美樹

## 育てる楽しみ

恩貴島 中道 久美子



私は40年間子どもに関わる仕事をしてきました。色々な家庭環境の子どもたちの中には休みがちで安否確認を必要とするケースもありました。その時には家庭訪問を頻繁に行い、一緒に登園し子どもが友だちと遊べる機会を持てるように動く事もありました。また、夜遅くに子どもだけでうろうろしている事を耳にすると、その子の自宅付近での夜間の見回りを民生委員の方をお願いするなど、本当にお力をお借りし助けていただきました。今は、その恩返しを少しでもできればと思っております。

子どもたちの成長を見る事と同じで、今の楽しみは、春になるとミカンの木にアゲハの卵、楠の木にアオスジアゲハの卵を見つけ、卵から幼虫へと成長する姿を毎日楽しみに育て、空に飛び立たせることです。

また、小さな庭では野菜を育てています。春には、きゅうり・トマト・枝豆・甘長・すいか等を植え、秋には、大根・菊菜・えんどう豆等を植え、孫や近所子どもたちと収穫を楽しんでいます。プチ自給自足になっているかな、食べる分だけを収穫し無駄にしないってSDGsにも少しは繋がっているでしょうか？

育てて成長するのを見ることができるのは、本当に幸せな事だと思っています。

## 編集後記

今号は、編集委員の皆さんで意見交換し、10月に開催された区の全体研修会を第1面に取り上げることとしました。講師の島田さんご自身の虐待経験をもとに語られる言葉は胸にずっしりとくる説得力のあるものでした。

これからも、委員相互の民生レターとしてより良いものにしていきたいと思っておりますので、「かわいい家族」「しあわせレシピ」等、皆様からのご寄稿をよろしくお願ひします。

編集委員会